

奥州の市民劇

第12回 奥州市民★文士劇

くらまてんぐ
鞍馬天狗
—悪い奴らは許しておけぬ！
正義を守る黒頭巾—

2月1日④、2日⑤
江刺体育文化会館（ささらホール）

鞍馬天狗と新選組・
近藤勇の一騎打ち



ことしも3つの市民による手作りの舞台が上演されました。出演者・スタッフ一丸となって作り上げた舞台に、満場の会場は感動に包まれました。



① 風雲急を告げる幕末の京。鞍馬天狗が角兵衛獅子の少年・杉作を助けるところから物語は始まっていく
② 祇園の茶屋にいる桂小五郎の元に暗殺集団・山嶽党から
③ フィナーレは奥州市民★文士劇スペシャルバンドの演奏に合わせ、全キャストでダンス。最高潮の盛り上がりを見せ、幕を閉じた



① 洪水や水不足により米が採れず、飢饉の年には餓死する人も多かった。そのような農民を救おうと立ち上がった千田左馬
② 今のような大型機械もない
時代の工事は危険も多く、左馬を支えてきた丑蔵が命を落としてしまう
③ 念願の農業用水路（寿安堰）が完成。農民は大喜びし、左馬も安堵して目を細める

第20回 奥州前沢劇場 千田左馬物語 いのちの水

2月16日⑥
前沢ふれあいセンター



第36回 奥州胆沢劇場

こころ
魂のはだて
2月23日⑦
胆沢文化創造センター

直右衛門の息子・蓮太郎と親友・清吉。2人の友情が直右衛門の心を動かす



① 胆沢の村を治める直右衛門は皆に慕われる肝いりだったが、病で妻を亡くし冷たい人間に。村人からの信頼も失っていた
② 息子の親友の死により自らの愚かさに気付いた直右衛門は、今までの行動を悔い改め体を張って村人を救う
③ 年が明け、村人から信頼されるようになった直右衛門の家の庭では正月祝いの「大黒舞」が始まっていた。長い間のわだかまりが消え、村は再び強い絆で結ばれた

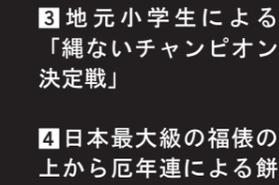
1月18日 岩手の火まつり 伊手熊野神社蘇民祭



① 歳戸木（井げた積みになされた丸太）に登り、火の粉と煙で身を清める「火たき登り」
② 氏子や厄年連に守られた別当と蘇民袋が神社に登り、厄払いと五穀豊穡を祈願する「別当及び袋登り」

2月15日 岩手・いさわ ワラと火のまつり 全日本農はだてのつどい

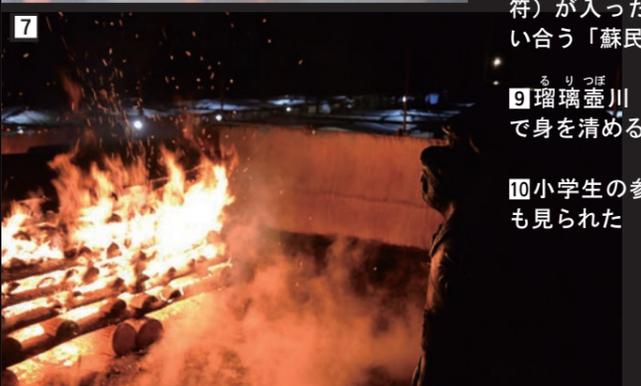
③ 地元小学生による「縄ないチャンピオン決定戦」
④ 日本最大級の福俵の上から厄年連による餅まきが行われた
⑤ 雪の上に稲に見立てたわらを植える「庭田植再現」



奥州冬まつり

五穀豊穡・無病息災を祈願して行われた冬まつり。冬空の下、参加者や観客の熱気で会場は大いに盛り上がりを見せました。

1月31日 裸の男と英のまつり 黒石寺蘇民祭



⑥ 立ち込める煙の中氣勢をあげる「柴燈木登り」
⑦ 赤々と燃える歳戸木
⑧ 小間木（蘇民将来護符）が入った麻袋を奪い合う「蘇民袋争奪戦」
⑨ 瑠璃壺川（山内川）で身を清める
⑩ 小学生の参加者の姿も見られた